こまけんだより

31年3月号

<3月の予定>

◎稽古時間:　木曜日・・・17:00～19:00
　　土曜日・・・15:00～17:00

■ 2日(土)　平成30年度後期昇級審査会
■ 21日(木・祝)　祝日(春分の日)のためお休み
■ 23日(土)　浦和少年剣道錬成会(サイデン化学アリーナ)
■ 30日(土)　13:00～17:00　6年生を送る会
■ 30日(土)　19:00～　6年生の保護者を送る会
※夜の修道館のお稽古はありません。

<4月の予定>

◎稽古時間:　木曜日・・・17:00～19:00
　　土曜日・・・15:00～17:00

■13日(土)　14:00～15:00　剣道教室第1回受付(駒場体育館　2F会議室)
　　一級審査会・合同稽古会(大宮武道館)
■20日(土)　14:00～15:00　剣道教室第2回受付(駒場体育館　2F会議室)
■20日(土)　第7回さいたま市剣道大会(大人の大会　大宮武道館)

<5月の予定>

◎稽古時間:　木曜日・・・17:00～19:00
　　5月11日より
　　土曜日・・・13:00～15:00　剣道教室①～③
　　土曜日・・・15:00～17:00

■2日(木・祝)　祝日のためお休み
■4日(土・祝)　祝日(みどりの日)のためお休み
■11日(土)　定期総会(駒場体育館　二階会議室)15:15～17:00
■未定　浦和地区錬成会(昨年、一昨年は5月3日(祝))

◎２０１９年度　剣道教室を以下の内容で開催します◎

期　　間：５月１１日（土）～６月２９日（土）１３時～１５時
　　※毎週土曜日　計８回
場　　所：駒場体育館　剣道場
募集学年：小学１年生～６年生
　　※今回は小学１年生から募集します。2020年度は駒場体育館の改修工事のため剣道教室を実施できません。この機会にぜひご参加を！

お近くに興味がある方がいらしたら、お声がけください！！

こまけんだよりは公式サイトでもご覧いただけます。是非カラーでもお楽しみください♪
http://www.geocities.jp/komaba_ken_hp/index.html

本荘先生からのお言葉

春の訪れの暖かな陽射しを感じる今日この頃です。厳しい寒さの中で行った寒稽古の成果が表れるのはこれからです。こつこつと地道な稽古を続ける中で、おそらくじわじわとにじみ出るように表れます。それを楽しみながら稽古に取り組んでいきましょう。

さて、3月は卒業の季節です。今年の6年生は稽古中、竹刀を叩き落とされたり壁に張り付いたり床に転がされたり修道館の太鼓のそばの扉から外に出されたりしてもへこたれず、果敢にかかってきたメンバーでした。その経験値に個人差はありましたが、こちらも本気になって稽古相手をしようと思えるがんばりが、この学年の持ち味であり特長でした。これから剣道を続けていけば、きっと大きく成長するだろうと期待する面々でもあります。

卒業していく皆さんに「贈る言葉」は毎年同じようになりますが、「剣道を細くてもいいので長く続けてください、剣道でつながる縁を大切にしてください。そしてなにより駒剣を卒業したことを誇りに思いその縁を大切にしてください。」細くてもというのはすぐに強くならなくてもいいのですよ、という意味です。私が在学中の埼玉大学剣道部の試合用手ぬぐいには「運鈍根」という三文字が書かれていました。真ん中の「鈍」は鈍いという字です。不器用で鈍くても粘り強く継続する者が最後に強くなるということです。『その〇〇、プライスレス』というテレビコマーシャルがありましたが、まさにお金では買えない価値のあるものを皆さんは1か月後につかむはずです。それが宝物だとわかるまで、少し時間がかかるかもしれませんが。

何年か前の「こまけんだより」にも書きましたが、剣縁にまつわる話をひとつ。

このあと出てくる「太郎の百錬自得」でお馴染みの錬成部長の長谷部さん、先日の新役員お披露目会で秋田県出身であるとご自身でお話しされていました。私の名前「本荘」は埼玉県の「本庄」ではなく、秋田県にある「本荘」です。10年ほど前に独り秋田の本荘を歩き、街中が本荘だらけで自己肯定感が満たされ幸せだったことがあります。今は市町村合併により「由利本荘市」となっていますが、長谷部さんは本荘市の出身であり、お父様は現在、由利本荘市の市長さんなのです。高校時代インターハイで団体優勝し、大学でも剣道部キャプテン、現在は秋田県剣道連盟の名誉会長というすごい経歴の持ち主でもあります。4年ほど前、妻と息子と一緒に由利本荘市を訪れ、長谷部さんご一家とともにご両親ともお会いし歓待を受けたことがありました。剣道をしていなければつながらなかったご縁ですし、名前でもつながっている市の市長さんが知り合いのお父様だなんて驚きですよね。いつか剣でのお手合わせもお願いしたいと思っています。皆さんにも素晴らしい剣縁を実感できる時まで剣道を続けてほしいです。

本日の級審査会いかがだったでしょうか。一番大事な声、気迫ある掛け声は出せましたか。最初と最後の礼法はきちんと相手に合わせてできましたか。打つことばかりではなく、相手に打ちやすいように受けることができましたか。剣道を続けていくうえで級や段位があります。級は数字が小さくなれば上位になり、段位は数字が大きくなれば上位となります。剣道の実力を示す絶対的なものではありませんが、修行をするうえでの目標や励みになります。他人と比べるのではなく、己の剣の道、どこまで歩いてきたのかを確認する指標にしてもらえればと思います。ただ「〇級になった！」で終わらせずに、先生やおうちの人に自分の立ち合いがどうだったか、聞いて参考にするのも大切な稽古です。

3月23日（土）の浦和少年剣道錬成会まであと3週間となりました。数少ない対外試合の一つです。個人戦、団体戦ともに稽古の成果を思う存分出してほしいです。

特に6年生にとっては小学生時代の最後の大会となります。力を出し切った試合をして有終の美を飾ってください。

一人一人がしっかり声を出し、道場に気迫があふれる稽古を、これからの一か月間続けていきましょう。

師範の先生から卒業生へ
お祝いのお言葉をいただきました

卒業生、卒業生の保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。
加入期間の長さは、それぞれですが、深く駒剣に携わり、 ご協力いただき、 駒剣士に愛情を注いでくださりありがとうございました。

駒場剣友会の卒業

尾島　寿子先生

駒場剣友会で学んだ君たちが、この時この場から巣立ちます。途中は山あり谷あり、剣道に気持ちが向かず、足が遠のきそうな時もありましたね…よく卒業の日まで頑張りました！

駒剣相談役の菅原先生のお言葉「継続は力なり」の通り、ここまで続けた事が自信や勇気になって君たちの人生の糧になるはずです。自信を持って行きましょう！

それを支えてくれたご家族の方々に感謝を忘れないでくださいね。

さてさて中学校に入学すると剣道の環境は大きく変わります。今まで駒剣に有った「当たり前の事」は実は「特別な事」だったと気づくはずです。中学での部活動は「ゼロ」スタートの気持ちで始めてほしいと思います。今までは与えられる事が多かった立場の小学生が、これから環境を作っていく中学生の立ち位置へと成長するのを楽しみにしています。

中学生になって大会や練習試合で駒剣 OBOG が再会した時・対戦した時、剣道をしていない人も皆が中学生活を切磋琢磨し共に成長している様を見ることができます。それは大変素晴らしく、見ている私が幸せを感じる時でもあります。

今年 2 月 10 日にあった事を書かせてもらいます。中学に入って剣道でなくバレー部に所属した駒剣 OB の S 先輩（現在は中 2 年生）が中学の剣道場に剣道を見に来て…あれ?姿が見えないと思ったら帰宅し防具を持って来て小学生卒業以来の稽古をしました。見ていたらやりたくなったのですね。剣道はやっていないはずなのに素晴らしく力強い伸びやかな打ちをするので驚きました。駒剣で学んだ技にバレー部で身に付けたパワーがプラスされて素晴らしい打ちが出来たのだと思います。久々に彼との地稽古も楽しいものでした。「剣道っていいな」って感じる一瞬でした。剣道は自転車の運転の様なもので覚えた物は無くならない。10 年乗らなかった自転車も乗れるのです。剣道も出来るのです。

私は駒剣の母として OBOG 会にて君たち卒業生の帰省を楽しみにします。合宿もあります。入学し中学の制服を披露してくれるのも良いですね。

平成 30 年度の駒剣も君たちのお蔭で良い一年でした。後輩の面倒をよくみました。先輩として役割に努めました。君たちの明るい笑顔で楽しい雰囲気で稽古が出来ました。ありがとう。元気で行ってらっしゃい。

卒業おめでとう

山田　節男先生

毎年この季節になり、六年生であるみなさんを送り出す頃になると、月日のたつのは早いものだなあ、また一年がたったのだと改めて思っています。

それぞれ駒剣で剣道を始めた時期は違いますが、みなさん頑張ってもうすぐ卒業の時を迎えます。

おめでとうございます。
　駒剣に入会してからの年月は、いろいろなことがあったと思います。ここで、初めて竹刀をにぎった人がほとんどだと思います。先生がたからいろいろなことを教えられ少しずつ上達して今日にいたっていると思います。
　教えてもらったことを自分のものにするには自分で実際にそれをくり返しくり返しやってみて自分の体が自然にできるようにする必要があります。そして、ある程度できるようになってきたときには、それがどういう理屈でできているかどんな仕組みでできているかどうして必要なのかを考えてみるとよりいっそうそれがうまくできるようになってくると思います。
　最初に教わった時には、それがどうしてかということがわからなくてもとにかくやってみることも大事です。剣道に限らずほかのことでも同じだと思います。ただ、それが正しいことで正しい教え方で教えてもらったことでないとかえってまちがったことをおぼえてしまうので難しいのですが。
駒場剣友会で教えてもらった剣道の基本は正しいことです。しっかりとくり返しくり返し身につけてください。そして、今のみなさんであればそれがどうして必要なのか正しいことなのかを考えていくこともしてみてください。
　さて、今年、平成 31 年の 5 月で新たな元号に変わります。平成の前の元号である昭和は 64 年までありました。みなさんの知っている方や親せきのかたにはその前の元号の大正や明治の生まれという方もいるかもしれません。そんなに長い年月でなくてもみなさんのいままで生きてきた年月の間でもいろいろなことがあったと思います。これから中学生になりその先もまだまだたくさんのことがあると思います。
　生きていくといろいろなことに出会います。いろいろなことが起こります。しかし、その中で、忘れてはいけないこともたくさんあると思います。いつもそのことを考えているわけではないけれども頭の中にずっと残っていて、そのこと思い出し続ける。それが必要なことはたくさんあると思います。
　8 年前の平成 23 年 3 月 11 日には東日本大震災が起こりました。その年にはこのあたりでもいろいろな被害があり体育館もしばらく使えずにいました。剣道もなかなかできずにいました。被災地ではそれ以上に大きな被害と亡くなられた方がいました。私たちもそのことを忘れずにいよう、伝えていこうと思いましたが、今はどうでしょうか。被災された方を忘れずにいる。災害の備えを忘れないようにする。その気持ちはうすくなっているのではないでしょうか。現実にはまだ解決されていないことがたくさんあるのに忘れているような気がします。それは、8 年前に駒剣に入っていなかった今のみなさんに私がその思いをきちんと伝えていないと思うからです。
　ものごとを考えるときに他人事（ひとごと）としないで考える。自分がその立場になったらどうであるかを想像してみる。どうしてそのことが必要なことかを考えてみる。
　そんなことも忘れないでいくための大切なことだと思います。
　ぜひ、いろいろなことに対して、考えていくことを続けてください。そのために本や新聞を読むこともしてください。
　おしまいに、みなさんは駒場剣友会の小学生会員を卒業しますが、この後もずっとＯＢ、ＯＧとして駒剣の会員です。
　ものごとを考えていくときに悩むことがあると思います。うまくいった時にはぜひ私たちに教えてください。いっしょに喜びましょう。でもそれ以上にうまくいかないでどうしようか悩むときに教えてください。いっしょに考えましょう。ひとはこころが疲れているとふつうのことあたりまえのことができなくなってしまいます。私もそうです。疲れた時にはあたりまえのことが考えられなくなっているかもしれません。なんだかどうしようかわからないときに来てください。なんでもないときでもかまいません。いつでも来たくなったら来てください。
　私たちはずっとみなさんを見守っていきます。みなさんもずっと駒剣を見守っていってください。

　卒業おめでとうございます。

6年生に贈る言葉

木村裕之先生

今村さん、内田くん、上岡くん、岸波くん、俵くん、寺島くん、橋本くん、花家くん、林くん、柳くん、卒業おめでとう。心身共に大きく成長した君たちの姿が、とても頼もしく思われて、元気に卒業の日を迎えられたことがたいへん嬉しく思います。

これから君たちはそれぞれ中学校へと進み、新しい生活のスタートに期待と希望で一杯かと思います。新しいスタートラインに経ち、新しい第一歩を踏み出して行きます。新しい先生、新しい友人、新しい勉強、是非君たちにこれらの変化を楽しんでもらいたいと思います。

ところで世の中を見回してみますと、環境が変わるのは君たちだけではありません。君たちが中学校の新しい生活に飛び込もうとしている今は、『平成』が終わり、新たな時代が幕を開けようとしています。平成の次の時代は、単に元号が変わるだけでなく、様々な"技術革新"によって私たちの暮らしや仕事が大きく変化し、世の中のシステムや常識が大変革を迫られる時代になると予想されています。

『平成』の初期に生まれたインターネットも、我々の生活や仕事の質を変えただけではなく、 新たな文化が生み出される基盤にもなってきました。これからは、AI（人工知能）の発達によって、これまで人間が行ってきた多くのことを AI が代行してくれる時代がやってきます。そして、AI は自分で学習しながら人間より正確で効率良く仕事をしてくれる分野が広がって行くことでしょう。AI によってこれからの 10 年、20 年間の我々の環境は、これまでの同じ期間と比べて格段に速いスピードで変化してゆくと考えられています。

君たちも中学校へと進み新たな環境の始まりの時です。そして、世の中も大変革の時代の始まりの時です。このような時に心に留めておいて欲しいことが3つあります。

1つ目は、先を取ることです。自分から先を仕掛けていくことです。剣道で先を仕掛けると相手が動くので一本が取りやすくなります。中学生活も同じです。大きく環境が変化する時代でも全く同じです。自分から先に"おはよう"と声をかけると回りの人が君たちを見る目が変わってきます。自分から先に勉強に取り組むと新しいことが見えてきます。先に動くと周りの人が、周りの世界が、後から動いてきます。そして、次の道が早く見えてきます。是非、自ら先を仕掛けて、変化を先取りして、その変化を積極的に楽しみましょう。

2つ目は、常にチャレンジし続けることです。チャレンジとは自分自身に挑戦することです。駒剣でも自分に負けないでチャレンジし続けてきた君たちには出来るはずです。誰にも負けない熱い夢を持って、その夢の実現に向かってチャレンジし続けることが大事です。夢を達成するためのひたむきなチャレンジ精神は、その人の世界観を作ってくれて、変化の時代に負けないたくましい心を養ってくれます。

3つ目は、常に自分の頭で物事を考えて、自分の心で感じて、自分なりの考えを持つことです。これはとても難しいことです。大人でも時として難しいですが必要なことです。自分に取って大切なものは何か、自分に取って幸せなことは何か、それが分かっているのは自分だけです。常に自分の頭で物事を考えて、自分の心で感じて、自分なりの考え（価値観）を持つことが大きな変化を生き抜く上でとても大事です。君たち自身の考え（価値観）がこれからの中学校をはじめとする人生という大海原を進んで行く上での"羅針盤"となって行くでしょう。

君たちは、駒剣で毎週たいへん苦しい稽古を仲間達と共にしてきました。今後剣道を続ける人も、また別のことを目指す人も、種目や目標は違っても、これまで続けて来た稽古の経験を活かして、達成したことに誇りを持って、それぞれ次の目標に向かって変化の時代を生き抜いてほしいと思います。
これからも成長した素敵な姿を駒剣の仲間達に見せにきてください。

卒業おめでとう。

新ジャイアンのはなうた♪

よっ！　みんな，元気か？
だんだん暖かくなって，剣道をするのに良い季節になってきたな。寒稽古で蓄えた力を爆発させる時がきたぞ。ぶわーっといこうぜっっっ！

さて，最近の稽古の調子はどうかな？ジャイアンからは，みんなグングン上手になっているように見えるぞ。みんなは，若いから，ドンドン新しいことを吸収することができるし，上手になるのも目に見えてわかることが多いな。
え？「僕（私）はうまくなってないんじゃないか？」だって？
心配いらないぞ。駒剣士全員が上手になっているぞ。自分のことは，自分では見えないので，自分が上手になっているのが分からない人もいるかもしれないけど，大丈夫。ちゃんと上達しているぞ。
でも，1つ注意することがあるんだ。それは，グンと上手くなる時期とあまり変わらない時期があるってことなんだ。低学年の人にはむつかしいかも知れないけど，毎日，毎週，毎月，毎年，同じように上手になるのではなくて，急にグンと上手になる時期があるんだ。階段のように上手になっていくイメージだな。だから，稽古していて，最近，あんまり変わらないな，上手になってんのかな？って思うこともあるけど，そんなときは，もう少し頑張れば，グンと上手になるはずだと思って稽古に励んで欲しいな。そうすれば，きっと，良い結果がでると思うぞ。
ついでに同じようなことかもしれないけど，今日，一生けんめい努力したからといって，今日強くなるわけではないことは，みんなもよくわかっているよね。これは，勉強も同じだし，他の習い事でも同じだよな。だから，結果が出るのを楽しみに，毎回の稽古に真剣に取り組むことが大切だな。

ところで，6年生は，もうすぐ卒業だな。6年生は，最後まで，6年生らしく，みんなの見本となるよう心がけてくれよな。そして，下級生は，6年生が安心して卒業できるよう，1学年上の稽古や振る舞いをするようにしよう。面ひもがほどけちゃいましたとか，声を出すように注意されちゃいました，なんていうのはなしにしてくれよな。そんなんじゃたよりなくて，安心して卒業できないもんな。
6年生だけど，駒剣は小学校を卒業すると自動的にOB会員ということになるぞ。中学に入って剣道部で剣道を続ける人もいるだろうし，他の部に入って剣道を中断する人もいるかもしれないけど，みんなは駒剣の卒業生（OB会員）だということは変わらないぞ。一緒にきびしい稽古を乗り切ってきた仲間だということを忘れないでくれよな。だから，剣道を続ける人も，一時お休みする人も，たまには，駒剣に来て，元気な姿を見せてくれよな。師範の先生方や，成人会員，後援部のお父さんやお母さん，みんなが歓迎してくれるはずだぞ。もちろん，ジャイアンも大歓迎だぞ！

じゃあ，またな！

太郎の百錬自得

第 60 回

いよいよ 6 年生を送る会の月、今年は 10 人が卒業していくということです。
すこし気は早いけれども、卒業おめでとう！
---
6 年生のみんなへ
みんなには、それぞれの進学先で、文武両道をモットーに仲間たちと切磋琢磨して、有意義な時間を過ごしていってほしいと思います。しかし、そんなに簡単なことではないでしょう。中学生は小学生以上に忙しいですし、これまで以上に多くの人と関わることになります。心も体も一層成長して、多感な時期を迎えます。
忙しくてやりたいことができない、とか、あの先生の考えが理解できない、とか、いろいろあるでしょう。そこをうまく過ごしてもらうために、私なりのアドバイスをします。

まず、物事がうまくいかなかいときは、集中できていないことが多い。今やるべきことに集中しよう。今なぜ自分がここにいるのか、考えてみる。これに答えられるようになったら、集中できるはず。目の前のことに集中できたら、うまくいくと思う。
そして、意固地になってないか自分で確認しよう。人は自分と違う考えの人のことを受け入れにくくできているみたい。冷静になったら、自分の考えと違う人の意見と自分の考えと比べてみる。なんでここが違うのかな～？と 3 回くらい深掘りしたら、案外共通点が出てきたりするものです。
そして、俯瞰（ふかん）（全体を見ること）してみよう。ひとつ上のところから考えたり、先のことと比べて考えたり、してみよう。木だけを見ていても森はわからない。愚痴がでるときは、物事の一点ばかりをみていることが多い。

そして、

それでもダメなら、「掛かり稽古」だ！フラフラになるくらい掛かったら、頭のなかも真っ白にリセットできるはずだ。そして美味いものを食べて寝てしまえば、万事解決になるはずだ。4 月以降も駒剣で、修道館で、待っています！

さて、剣道小話。
みんなはどのレベルだろうか。

1. 相手に技を出そうと思うが、体が動かない、退いてしまう。
2. とりあえず相手と構えたら、技を出している。
3. 相手との距離が打てるところまで入ったら、技を出している。
4. 構えて相手が打とうとするところを待って、技を出そうとしている。
5. 先に距離を詰めて、相手より先に技を出そうとしている。
6. 構えを作って、打つ前の攻めを試行錯誤して技を出している。
7. 構えを崩さず、溜め、乗りなどの攻めで、相手を崩してから技を出している。

初心者は大体みんな 1 だ。剣道初めて 1～3 年目くらいだと 2～5 くらいのところだろうか。6 まできたらだいぶ剣道の面白さがわかっているんじゃないでしょうか。
6 から 7 にいくにはかなりの修行期間が必要ですが、どんなに修行しても上には上がいます。相手によって、7 ができるときもあれば、1 に戻ってしまったり、の繰り返しです。でもそうやって強い人と稽古して、1 になることが大事、それが稽古だと思います。今日できたことが明日できるとは限らない。ただし、年単位で考えれば、確実に力はついている。ぐるぐる回っているだけに感じても、きっと少しずつ上に上がっていると信じよう。

ではでは、今月も楽しく稽古しましょう。

以上

卒業生＆保護者の方から駒剣のみなさんへ

卒業に際し、6年生と保護者の皆さまに溢れる想いを書いていただきました。
共に過ごした時間を思い返しながら、じっくりご覧ください。

【卒業生より】

俵くん　僕は駒剣の暖かい雰囲気が好きです。
初めて見学に来た時は、はっきりとは覚えていませんが「剣道をやってみたい！」と思いました。
剣道教室の時は毎週土曜日が楽しみでした。けれど続けるうちに段々と「面倒くさい」「基本ばかりでつまらない」そう思うようになりました。時にはズル休みをしてしまう事もありました。けれど、先生方の暖かい教えや、先輩方の優しさ、友達の笑顔が僕に剣道の楽しさを教えてくれました。
僕は剣道を始めるまで水泳くらいしか習っていなかったので、「勝負」「試合」という機会にふれませんでした。なので試合に負けた時の悔しさを知りませんでした。日々稽古を重ね、経験を積んでいくうちに、負けた時の悔しさ、勝った時の嬉しさを知る事ができました。
駒剣からもらったものはたくさんありすぎて全てを話していたら何日あっても足りません。
僕は、先生方、先輩方、駒剣のみんな、保護者の方々に支えてもらいこの一年キャプテンをする事ができました。
僕にとって大きな成長に繋がる一年でした。
僕はこれからも「駒場剣友会」という家族としてお世話になると思いますが、小学校を卒業する節目として改めて感謝の気持ちを伝えたいです。
先生方、先輩方、保護者の方々、そして駒剣のみんな、四年間本当にありがとうございました！

今村さん　私は３年生の剣道教室から４年間、駒剣でお世話になりました。４年生の頃、「行きたくないなぁ。打たれると痛いからいやだな」と思う時期がありました。でも稽古に行くと「今日もがんばろうね！」「上手に打てたじゃん」と優しく声をかけてくれる先輩方や友達がいて、だんだん剣道が楽しくなりました。そして５，６年生になると、自分も先輩だという自覚が出てきて、先輩方が見せてくれたように、自分もお手本になるようしっかりしなきゃと稽古するようになりました。試合でも結果を残せるようになり、ますます剣道が好きになっていったように思います。ここまで続けてこれたのは支えてくださった先生方、保護者の方々、一緒にがんばってくれたみんなのお陰です。本当にありがとうございました。

上岡くん　僕は３年生の時に駒剣に入りました。そして５年生の時に初めて試合に勝つことで剣道の面白さに気が付く事が出来ました。
いつも優しく教えて下さった先生方、一緒に頑張った駒剣のみんな、僕たちのお世話をしてくれた保護者の皆さん本当にありがとうございました。
駒剣で教えてもらったことを活かして中学校でも剣道頑張ります。

内田くん　ぼくは、５年生の時から駒剣にお世話になりました。最初に見学に来た時に、先生方や先輩がとてもかっこよかったので入りました。先生方に指導していただいて、剣道がすぐに好きになりました。試合ではあまり勝てなくても、剣道がいやにならずに続けられたのは、支えてくださった先生方、保護者の方々、

駒剣のみんなのおかげです。
駒剣で一番の思い出は、６年生の時に参加した合宿です。駒剣のみんなと３日間過ごすことができて、とても楽しかったです。
２年間ありがとうございました。

岸波くん　僕は４年間駒剣にお世話になりました。入会したきっかけは母に勧められたからです。自分の意思で入った訳ではなかったため、最初は痛いし暑いし、やりたくないと思っていました。そんな気持ちが剣道に出ていたのか試合で一度も１本を取ることができず、引き分けか負けが続いていました。もう辞めたいと思ったこともありました。ですが、５年生の合宿で何かが変わったのか急に勝てるようになり、そこから剣道がどんどん好きになっていきました。４年間続けてきて良かったです。まだまだ課題はたくさんありますが、継続は力なりだと実感しました。
中学でも剣道を続けるので駒剣に顔を出すことがあったら宜しくお願いします。師範の先生方、錬成部の先生方、保護者の皆様、今までありがとうございました。

寺島くん　５年生から駒場剣友会に入り寒稽古や試合などのたくさんの経験ができました。仲間や先生方と稽古ができたこと、試合に勝てたこと、思い出はたくさんあります。短い間でしたがありがとうございました。

橋本くん　僕は、３年生から４年間駒剣にお世話になりました。始めた頃は、疲れるし、注意されることが多く、あまり好きではありませんでした。でも、みんなと過ごした時間、優しく教えてくださった先生・先輩方のおかげで、最近は楽しいと思えるようになりました。
駒剣では、礼儀などたくさんのことを学びました。サポートしてくださった保護者の皆様そして仲間たち、先生方本当にありがとうございました。

花家くん　僕は、小学校３年生の時に駒剣に入会しました。剣道はテレビで見たことがあり、単純にかっこいいなと思っていたので、駒場で剣道を教えてもらえると聞いて、すぐに始めたいと思いました。実際には厳しい練習もあり、正直辛いなと思うこともありました。でも先生方や先輩が優しく指導してくれて、一緒に頑張っている仲間達もいたから、辞めたいと思ったことは１度もありませんでした。
中学校に行っても剣道を続けるので、これからもご指導宜しくお願いします。
４年間、本当にありがとうございました。

林くん　僕は３年生のとき駒剣に入りました。入ったばかりの時は、まだ緊張していました。でも、だんだん緊張は抜けて、友達ができました。僕は剣道でいろいろな事を学びました。例えば、生活の中では、礼儀や姿勢などを学びました。始めた頃はあまり稽古が好きでなかったけど、でもだんだん楽しくなってきて稽古に行きたくなるようになりました。中学生になってもたまに稽古に行きたいと思います。先生方、小学生の皆さん、駒剣に行ったときはよろしくお願いします。今まで本当にありがとうございました。

柳くん　１年間お世話になりました。
初めは打たれると痛くて嫌な気持ちでしたが、続けていくうちにだんだん楽しくなりました。特に心に残っているのは寒稽古です。寒い中、みんなで走ったり掛かり稽古をしたりして大変でしたが、終わった後はさわやかな気持ちになりました。これから中学校でも剣道を続けていきたいと思います。ありがとうございました。

【卒業生保護者より】

俵さん(母)

秀陽が剣道を始めたのは３年生の頃です。きっかけは、私の姉や弟が剣道をやっていたので、母からも勧められ、ネットで調べて駒場剣友会にたどり着きました。
当初は、学校の友達も知り合いも誰もいない状態で入ったので不安な気持ちもありましたが、親の心配もよそに秀陽は、お稽古後に楽しそうにお喋りしている先輩方の輪の中に自ら入っていき可愛がってもらっていたのを昨日のことのように思い出します。あれから４年間あっという間に過ぎていきました。
イベントではみんなで声を出して笑い楽しんだり、合宿では暑い中汗を流して真っ赤な顔でお稽古したり、スランプに陥り中々勝てなくて辛い思いをした事もありました。
駒剣で過ごした日々は秀陽にとってとても貴重でかけがえのない時間だったと思います。
６年生になり、皆さんに支えられながらキャプテンとして駒剣をしっかりまとめようという思いが出てきて、この一年で大きく成長したと思います。
いつの頃からか、試合の時や、普段の稽古の後、家に着いて車を降りるとき「ありがとう」と言ってくれるようになりました。自然に感謝の気持ちを伝えてくれるようになったのも駒剣で学んだからだと思います。
我が子のように、時に厳しく、時に優しく、熱心にご指導してくださった先生方、様々なお手伝いで支えてくださった保護者の皆様、いつも一緒にお稽古をしてくれた駒剣士の皆さん、本当にありがとうございました。

今村さん(母)

小さい頃から好奇心旺盛で活発だった明日香。カッコよくて芯の強い女の子になってもらいたいな...武道でも習わせてみようかな...と思い始めた頃、「一緒に剣道行ってみない？」と上岡さんに声をかけてもらったのが、駒剣との出会いでした。（上岡さん、ありがとう！）
これはやるしかない！と迷わず入会。でも剣道教室では何人かいた女の子も、入会したのは明日香ひとり。「女の子一人でいやだ、やめたい」って、いつ言われるかヒヤヒヤでした。が、先輩方がいつも気にかけ、かわいがってくださったお陰で、その心配は無用になりました。４年生の時に、行きたくない病（笑）が出ましたが、その時も先生、先輩方やお母さまたちが明日香のいい所を見つけては褒めてくださり、見守ってくださったので乗り越えられたのだと思います。
自分が上級生になってからは、先輩方に面倒をみていただいたように、自分も先輩として後輩に目を配ったり、お稽古に真剣に取り組む姿も見られるようになり、成長を感じました。
剣道のこと、学校のこと、友達のこと...いろいろ悩んだこともあったと思いますが、駒剣でお稽古をして汗をかき、みんなとワイワイ雑談することでストレス発散、気分転換！になっていたところも少なからずあったように思います。駒剣に成長させてもらい、支えられた4年間でした。
師範の先生方をはじめ、錬成部、後援部の皆さま、明日香と一緒にお稽古をしてくれた駒剣士のみなさん、本当にありがとうございました。駒剣は卒業してしまいますが、これからも親子共々よろしくお願いいたします。

上岡さん(母)

小さい頃から負けたくないから勝負しない、努力して駄目だったら悔しいから最初から努力しない、という消極的な負けず嫌いだった大起。
いくら私が怒っても、宥(なだ)めすかしても、小さな肩を震わせながらも頑として考えを曲げなかったこの子を、駒剣に関わる全ての皆様が、行事が、そして駒剣の理念が、無理なくあたたかく変えて下さいました。
ともすれば常に北風になってしまう私ですが、駒剣という太陽があった事で安心して子ども達を鼓舞出来たように思います。
また、「今の努力は３ヶ月後の自分に返ってくる」という師範の先生のお言葉は剣道だけに留まらず今後の人生のすべてに有効な名言として活かして行こうと思っています。いや、すみません。なんだったらすでにしょっちゅう言ってます。
３年生で駒剣の門を叩いてはや４年。６年生になった大起は「努力をしたらしただけ返ってくるのではなく、少し目減りした状態で返ってくるものだ」と繰り返し繰り返し悔しい思いをする事で理解してきている様に思います。
大起には、信頼する先生方のもとでお稽古出来る幸せ。子ども一人一人に親身になって下さる大人が沢山いるところに属せる幸せ。共に苦しいながらも励まし合い、楽しく剣道できる仲間が出来た幸せを。そして私にはヒーヒー言いながらも剣道楽しい！もっとやりたい！と目を輝かせて言う大起をアンタどうかしちゃってんなと目を細めて言う幸せを。本当に沢山の幸せを与えて下さってありがとうございました。

内田さん(父)

浩平は５年生の時に駒剣に入会しました。父親の私は剣道について全くの素人ですが、息子だけが駒剣に通うのではなく、父親として駒剣にできる限り参加しようと考え、２年間を過ごしました。この２年間で印象深かった出来事のうち、３つお話ししたいと思います。
１つ目は、お父さん・お母さんの剣道体験稽古会での経験です。息子が剣道を始めた頃、先生方のご指導を見て、面はこうやって打つのではないか、などと素人ながらアドバイスをしていました。しかし、やっぱり自分で体験してみなければと思い、お父さん・お母さんの剣道体験稽古会に参加してみたのです。稽古を体験して感じたのは、思ったところに竹刀が当たらない！ということでした。気合いだけは負けまいと大きい声は出したのですが、ものすごく肩に力が入ってしまい、面は横にずれたり、小手は空振りしたりとさんざんでした。充実した気勢で、適正な姿勢をもって、正しく打突し、残心の形を取る。一本を取ることの難しさを痛感しました。この稽古会の経験以降、息子と剣道の奥深さを少し共有できるようになった気がします。
２つ目は埼大寒稽古です。息子が剣道を始めて最初の冬、埼大の寒稽古に参加したいと言いました。我が家は車がないため、移動は自転車になるのですが、自宅から埼大まで自転車で約40分かかります。息子一人では行けないので、妻と交代で、息子と一緒に埼大まで自転車で通いました。稽古は朝５時からなので、朝３時に起き、自宅を朝３時50分頃出て埼大まで送ったのですが、朝４時頃に自転車で40分も乗っていると、とてつもなく体が冷えるのです。どんなに厚着していても寒い・・・。その上、寒い体育館で稽古を２時間見て、また自転車に乗って自宅に帰るのですが、とにかく寒かった。しかし、息子が激しい練習の中で一生懸命頑張っている姿を見ることができ、寒い中、送り迎えしたかいがあったなぁと思いました。帰りに息子とコンビニで一緒に食べた暖かい肉まんとコーンスープがとってもおいしかったこと、今でも覚えています。
３つ目は夏合宿です。私は合宿委員として夏の暑い３日間、合宿に参加しました。息子と一緒に合宿に行けたこともうれしかったですが、自分の子

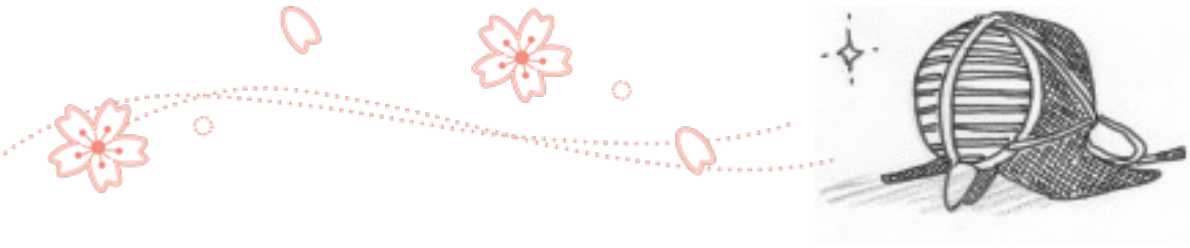
どもだけでなく合宿に参加している子どもたちとともに３日間ふれ合い、普段の稽古では見られない子どもたちの表情を見ることができ、とても楽しかったです。熱心に指導して下さる先生方や温かい目で見守る保護者のもと、子どもたちが楽しく剣道やレクレーションをしている姿を見て、「これが駒剣なんだな」と感じました。そして、合宿の最終日に息子が試合している姿を見て、駒剣を通じてずいぶん成長したなぁと思いました。
最初に述べましたが、私は剣道の経験がありません。しかし、そんな私でも父親として駒剣に参加したことで、楽しく一生忘れない経験をさせていただきました。師範の先生方、錬成部の先生方、保護者の皆さま、本当にありがとうございました。

岸波さん(母)

長いようで短い４年間でした。駒剣に入会したのは泰生が３年生の時です。泣き虫だった息子を心配し、剣道に接することで心が強くなればと思い入会を決めました。
周りの皆がめきめき上達していく一方、なかなか一本が取れない息子。２年程は連敗が続いたでしょうか。勝ち負けではない事は理解しつつも二人で落ち込んだりもしました。
そんな息子ですが５年生の時の合宿を機会に変わりはじめた気がします。初めて３位になり自信がついたのか、少しずつ声が出るようになり、１本取れるようになりました。
最近では自分の弱点を分析し、どうしたら強くなれるのか考え前向きに頑張っているようです。
ここまで頑張ってこれたのも根気強くご指導いただいた師範の先生方を初め、我が子のように温かく見守ってくださった錬成部そして後援部の方々のおかげだと感謝の気持ちでいっぱいです。
私も剣道を通して子供たちが成長していく様子をみることができました。続けてきたからこそ得た喜びや気付きがたくさんあります。駒剣の皆で一緒に笑って・・・一緒に悩んで・・・かけがえのない時間でした。
本当に有難うございました。
皆さんそれぞれの道に進むかと思いますが駒剣で学んだことを胸に頑張っていってほしいと思います。まだまだこれからです。頑張れ卒業生！！

寺島さん(母)

２年前、駒場剣友会に入会させていただきました。小学校のマーチングバンドを続けながら土曜日のみの参加が多く、色々な方々にご迷惑をおかけしました。
せっかく剣道と出会えたのだから、月に何度かでも先生方と向き合い、皆と姿勢を正す場を子供に与えたいという親のわがままを受け入れ、見守ってくださった先生方には感謝しかございません。師範の先生方だけではなく、時々しか参加できない息子にも声をかけてくれたお友達、後援部の皆様、本当にありがとうございました。



橋本さん(母)

駒剣には脩矢が３年生の時の剣道教室からお世話になりました。何をするにも引っ込み思案で恥ずかしがり屋、内弁慶の子でしたので、少しでも違う一面を見つけてもらいたいと思い入会させました。
最初の頃は、大きな声を出すことが嫌で、何度も「行きたくない」「休みたい」と言い泣きながら行く日や、無理矢理連れて行った日もありました。そんな日でも稽古が終わるとスッキリした顔で帰ってきて、「楽しかった」と言っているのを見て安心していました。
この４年、あんなに嫌がっていた稽古も３年間皆勤をとることができ、成長した姿を見ることができたのは、師範の先生錬成部の先生、先輩方同期の仲間、そして保護者の皆様のおかげです。ありがとうございました。
中学に行っても剣道を続けると言っているので、これからも OB としてよろしくお願いします。

花家さん(母)

４年間、本当にお世話になりました。
息子のやる気がいまいち感じられず、もどかしく思うことが多々ありました。今思えば、あまり表には出しませんが、彼なりに剣道が好きで続けて来たようです。
今までは習い事というものは全く続かずに終わっていましたが、中学でも剣道を続けるとのこと。一つのことを続けようとしている今、その気持ちを大事にしてほしいです。駒剣で得たものは大きいです。先生方からのご指導や素晴らしい先輩や仲間達。我が子のように接してくれる保護者の皆様（至らぬ私は、本当にお母さん達に助けられました）。
息子と私も駒剣で大きく成長させてもらいました。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。これからも宜しくお願い致します。

林さん(母)

駒剣には颯一朗が小学3年生の時からお世話になりました。姉が剣道をやっていたこともあり、剣道をさせたいと親の思いから入会しました。元々、自己主張の強くない颯一朗は、楽しいのかつまらないのか、行きたいとも行きたくないともなく、なんで道場にいるのかわかっていない感じでした。一緒に入会した同級生がメキメキ上達していくのに対して、マイペースでやる気があるのかないのかわからない颯一朗はどんどんおいてかれている感じがして、何やってんの、やる気がないの？声出しなさい、薄い反応にイライラして駒剣帰りの車の中ではお説教のことが増えていきました。体の大きい颯一朗が手を抜いているように見え、感情が押さえられない自分がいました。そんな中、私自身が剣道を始めてみると、見えなかったことがたくさん見えてきました。決して派手で目立つタイプではないけれど、颯一朗がお稽古中に休む事なく真面目にお稽古していることを間近で感じ、颯一朗なりに真面目にやっていたんだな、と感じそれからは一切剣道に関して口出ししなくなりました。それからというもの、駒剣帰りの車の中では、今日のお稽古の話や、私の打ちを辛口で批評したり剣道仲間として話すようになりました。私からのプレッシャーから解放されたのか、そういえば剣士っぽくなってきたな、と感じることが増えるようになりました。６年生になってからは、私につき合わせることが増えてしまいましたが、文句も言わずに剣道教室からの通常稽古からの修道館と黙々とお稽古しているなかで、何か掴んでいったような気がします。ぐっと剣道が変わってきたのもその頃です。ぐんぐん背が伸びて、声も変わり始めて、出せない声がますます出しづらくはなりましたが、本人なりに工夫していたようです。性格的に気の利いた言葉を後輩にかけるでもなく見守っているだけでしたが、先輩としての自覚をゆっくりともてた時間でもありました。ただ、あまりにも落ち着きすぎて、間違えてお茶を出していただいたこともありました（苦笑）。颯一朗が習い事の中で、唯一「辞めたくない」と

意思表示したのは駒剣です。駒剣でのたくさんの出来事は必ず力になっていくと思います。駒剣は「ただいま」と帰ってこれる場所だと思っています。学校で上手くいかないことがあっても、僕には駒剣の仲間がいると思えれば、乗り越えられると思います。そんな経験や「ファミリー」が出来たことに感謝しています。私自身、入会直後は後援部の熱さに圧倒され私には無理無理、なんて思いましたが、気づけば副部長になっていました。歴代の副部長のそうそうたる顔ぶれにプレッシャーを感じましたが、自分の今の生活の中で自分のペースでやっていこうと決心し、なんとか１年やってこられました。次の世代にきちんと引き継ぐことが最後の仕事だと思って、最後までやり通したいと思います。支えてくださった皆様、本当にありがとうございました。これからも、親子で駒剣に関わって盛り上げていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

柳さん(父)

駒剣の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。おかげさまで俊成も、剣道が楽しくなってきたようです。私も数十年ぶりに楽しむことができましたが、思った以上に体力の衰えを感じています。先生方を見習い、今後も努力したいと思います。

第３２回　所沢市長旗争奪剣道大会

平成31年2月11日（月）
＠所沢市民体育館

駒剣の先輩方が集まり、団体中学生男子の部に出場しました。
2回戦の相手は今大会3位のチームですが、攻めの気持ちを
もって健闘しました！試合を通し、多くのことを学ばれたようです。

【試合結果】

【団体中学生男子の部　1回戦】

	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝数（本数）
駒場 剣友会	飯田	武笠	峯	佐藤	内田	3（6）
	㊀メ	○ ○		○ ○	~~▲▲~~ ~~▲▲~~	
所沢 狭山ヶ丘			㊀		㊀反 反	2（3）
	林		島崎		森	
コメント	やりづらい相手でしたが、しっかりと面が決まりました。		スキをつかれました。油断大敵。		反則4回はありえません。もっと勉強しましょう。	

【団体中学生男子の部　2回戦】

	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝数（本数）
駒場 剣友会	飯田	武笠	峯	佐藤	内田	0（1）
		▲	メ	~~▲▲~~	▲	
東松舘 道場	㊀ド メ	㊀メ メ	㊀コ	㊀メ 反	㊀コ コ	4（9）
	橋本（岳）	山崎	橋本（大）	廣澤	松尾	
コメント	動きの良い相手でした。小手を取りに行ったところを取られてしまいました。	相手のパワーに押されました。動きは良かったです。	攻めて1本取ることができました。	相手のパワーに押されました。動きは良かった！	1回戦より動きが良かったです。相手が上手でした。	全体的に攻めてはいたものの、相手のパワーに押されていました。勉強になりました。

【出場選手の感想】

飯田くん　この度は所沢市長旗争奪剣道大会に出場させていただき、ありがとうございました。今回は二回戦で東松舘の方と試合をさせていただいて、とても嬉しかったです。試合を終えての課題は、攻めが単調なこと、すぐに打突を受けてしまうこと、小手を打つときに右半身から出ていること、気持ちが弱いことと、沢山ありました。一回戦も二回戦も、攻めが単調で、十分に崩すことができない状態で打っていたと思います。日頃の稽古で、もっと攻めを研究し、パターンを増やしていけるようにしたいです。また、東松舘との試合では、小手を打ち損ねて守ってしまったところを打たれたので、なるべく姿勢や構えを崩さずに足で間合いをとって防いでいきたいです。この頃、小手が右半身から打っているという注意を受けることがあるので、しっかりまっすぐ構えて、腰全体で前に出るように意識をしたいです。あと、二回戦では、一本取られた後に、気持ちが沈んでしまい、メンタルの弱さを感じたので、沢山かかって自信をつけたいです。ありがとうございました。

武笠くん　所沢市長旗争奪剣道大会に出場させていただき、ありがとうございました。今回は次鋒をやらせていただき、先鋒の飯田くんと試合づくりがしっかりできるように意識しました。一回戦目は不戦勝で、二回戦目は東松舘の山崎くんと当たりました。良い流れを作ろうとしましたが、場外反則を取られ、面を二本取られてしまいました。今回の一番の反省点は、気持ちを強く持つことができず、そのままやられてしまったところです。良いチームでで き、貴重な体験ができました。日々の稽古で今回の反省点を活かしていきます。先生、保護者の方々、ありがとうございました。

峯くん　今回、二回戦で東松舘に負けてしまいました。一回戦目は、情けない試合をしてしまいました。二回戦目は、かなり強い相手で、手元が上がったところで小手を打たれてしまいましたが、そのあと、面を取り返せたので良かったです。東松舘の人と試合をできたのは良い経験になったし、他のチームも強いところばかりで勉強になりました。この経験を糧に学総に向けてしっかり練習をしていきたいです。今回、貴重な機会を与えてくださり、ありがとうございました。これからも稽古をよろしくお願いします。

佐藤くん　この度は、所沢市長旗争奪剣道大会に出場させていただき、ありがとうございます。今回は二回戦目に東松舘と試合をしました。試合相手の廣澤くんはパワーで押してくるタイプでした。自分としてはやりにくい相手でした。今回の課題は、パワーで押してくる相手から、崩れないようにする体幹をつけることと、打ちの素速さを上げることです。

内田くん　今回、所沢市長旗争奪剣道大会に出場させていただき、ありがとうございました。
試合としては、一回戦目、何回か反則を取られてしまって、あまり良い試合ではありませんでした。二回戦目は、一回戦目の反省を生かすことはできたのですが、強い相手を前にすると、自然と足も下がってしまいました。そこが今回の課題だと思いました。

石井のetc日記

それにしても二月は「うちみ」月間であった……何故だ!?

そんなで道場まわりで会った人にゴカイを与えてしまった…(おそらく)